

地方公聴会の公述人

「議事録に記録を」

16日の参院安保法制特別委員会の地方公聴会（横浜）で意見陳述した前日本学術会議会長の広渡清吾、弁護士の水上貴央両氏は18日、国会内で会見し、戦争法案が強行

採決された17日の参院安保特で公聴会の報告がされず、公述内容が議事録に残らない状態にあることに抗議の意思を表明しました。

広渡氏は「委員会では報告されるのは当たり前のこと。議事録に残すことで記録されるべきだ。こんなことが許されていないのか」と批判。水上氏は「公述人としてきわめて遺憾。憲政史上に汚点を残すことになる。もう一度特別委員会を開いて報告をしてほしい」と述べました。